

湾岸地域は、将来も開発計画等による交通需要の増大が見込まれています。
渋滞対策の促進と地域の発展を見据え、多車線の自動車専用道が必要です。



国道357号 船橋市浜町2丁目付近

湾岸地域は人・モノの流れが集中しています
慢性的な交通渋滞の解消が喫緊の課題です



千葉県パンフレットを基に関東地方整備局作成

今後も港湾機能の機能強化や物流施設等
の立地が計画されています

新湾岸道路 パネル展

千葉県湾岸地域のポテンシャルを発揮
国際競争力の強化・湾岸地域の更なる活性化



まずは早期に整備効果を発揮できるように、
規格の高い道路として外環高谷JCT周辺から
蘇我IC周辺ならびに市原IC周辺までの
湾岸部において検討を進めていきます。

新湾岸道路整備促進期成同盟会

会員：千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市、千葉県

お問い合わせ

千葉県 県土整備部
道路計画課

Tel 043-223-3119

千葉県湾岸地域の交通状況（現状と課題）

※出典：第1回 新湾岸道路検討委員会 資料（千葉県道事務所HP）（一部千葉県編集）

現況の断面交通量

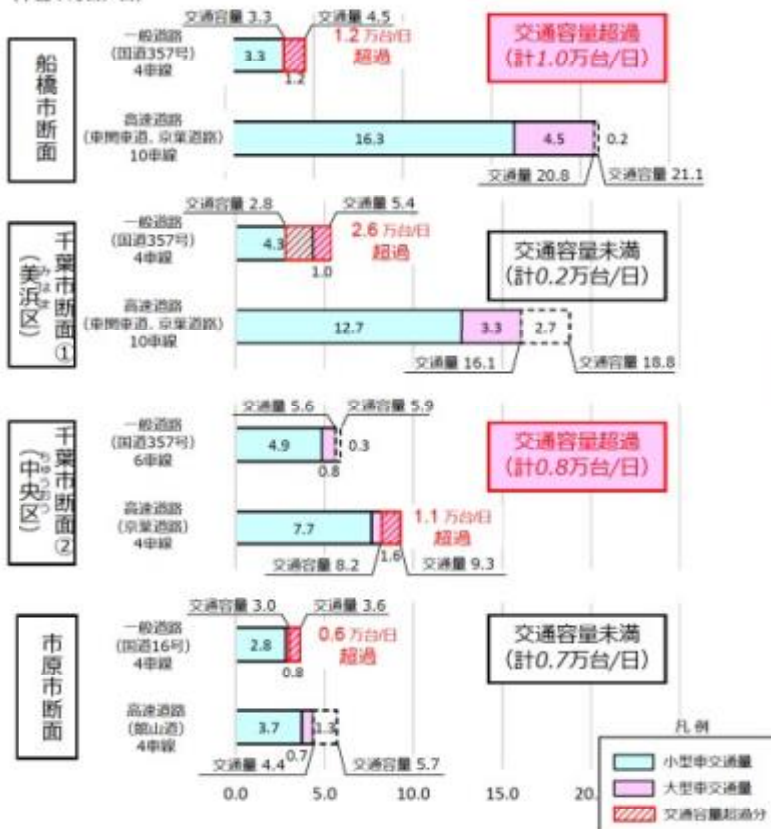
■船橋市、千葉市の各断面における一般道路（国道357号）と高速道路（東関東道、京葉道路）の総交通量は交通容量を超過しています。



- ※船橋市断面
国道357号：船橋市若松地先
東関東道：湾岸市川IC～谷津船橋IC
京葉道路：花輪IC～幕張IC
- ※千葉市①断面（美浜区）
国道357号：千葉市美浜区若葉1丁目地先
東関東道：湾岸習志野IC～湾岸千葉IC
京葉道路：幕張IC～武石IC
- ※千葉市②断面（中央区）
国道357号：千葉市中央区登戸5丁目地先
京葉道路：六川IC～貝塚IC
- ※市原市断面
国道16号：市原市五井海岸地先
館山道：蘇我IC～市原IC

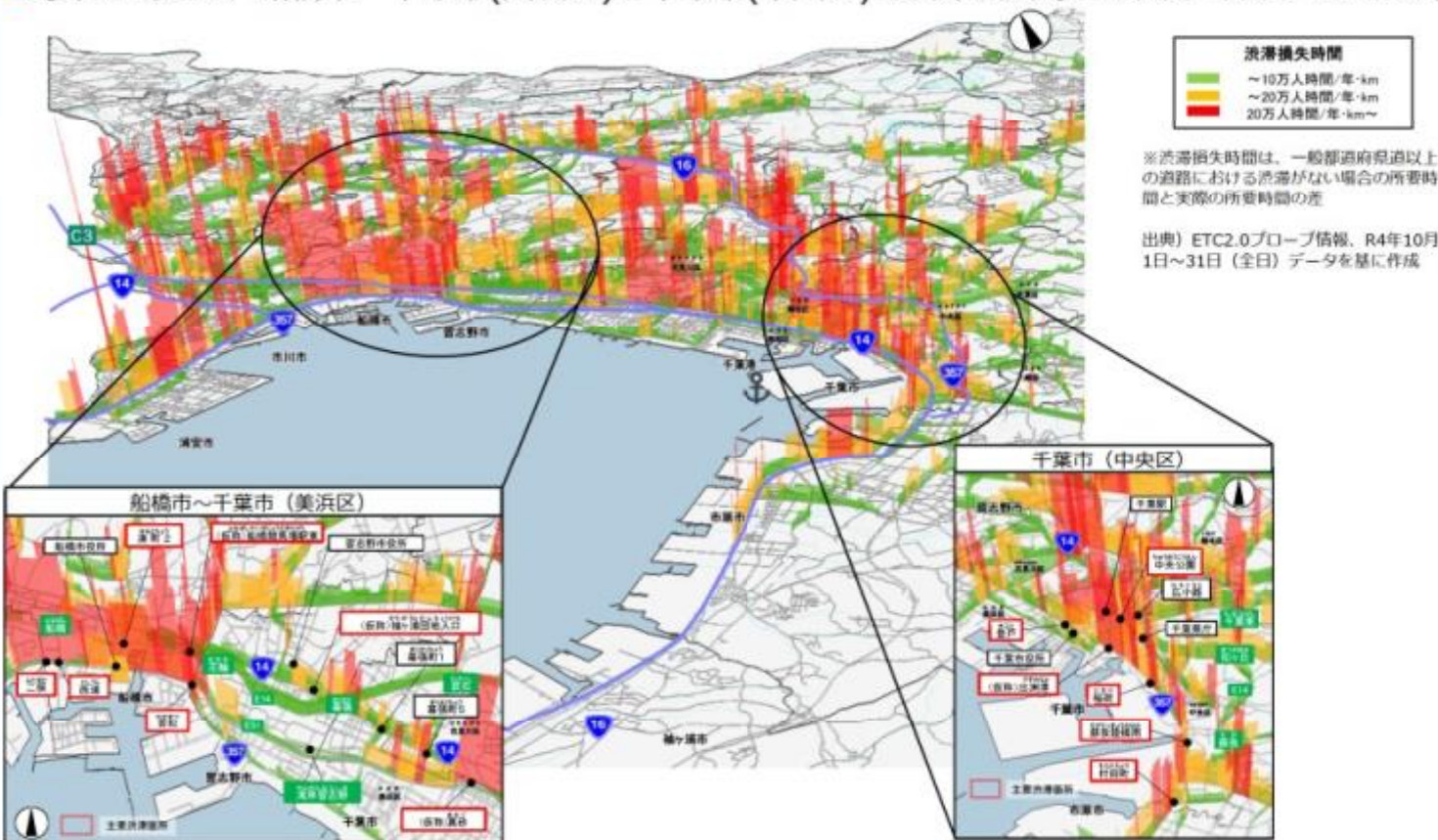
※交通量：トラフィックカウンター（令和4年4月～10月の日平均交通量）
※交通容量：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（一般交通量調査）結果より算定
※端数処理の都合上、合計が合わない場合あり

（単位：万台/日）



湾岸地域の交通状況（渋滞損失時間）

■湾岸地域では、船橋市～千葉市(美浜区)や千葉市(中央区)の渋滞損失時間が大きくなっています。

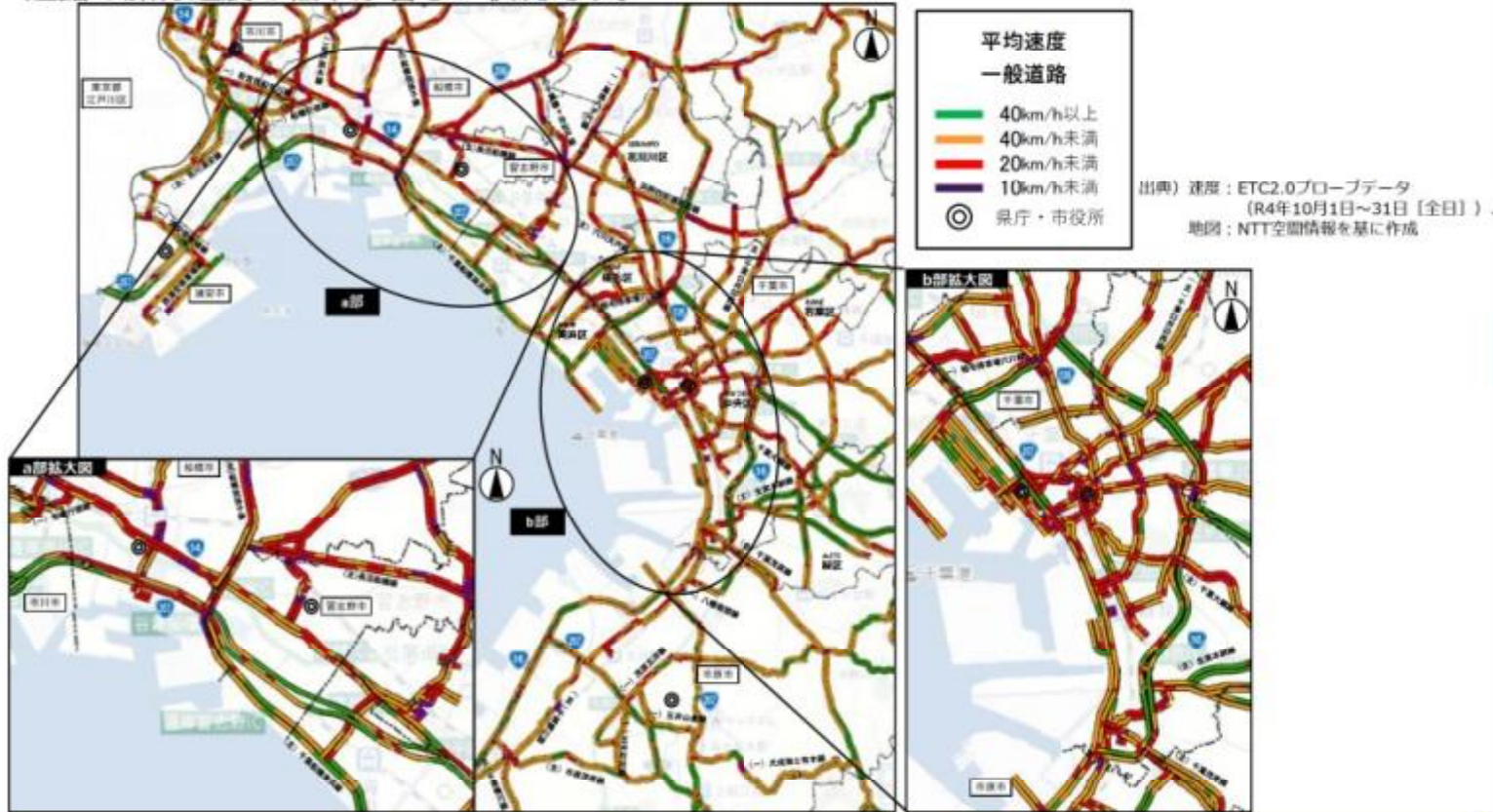


千葉県湾岸地域の交通状況（現状と課題）

※出典：第1回 新潟湾岸道路検討会準備会 資料（千葉県道事務所HP）（一部千葉県編）

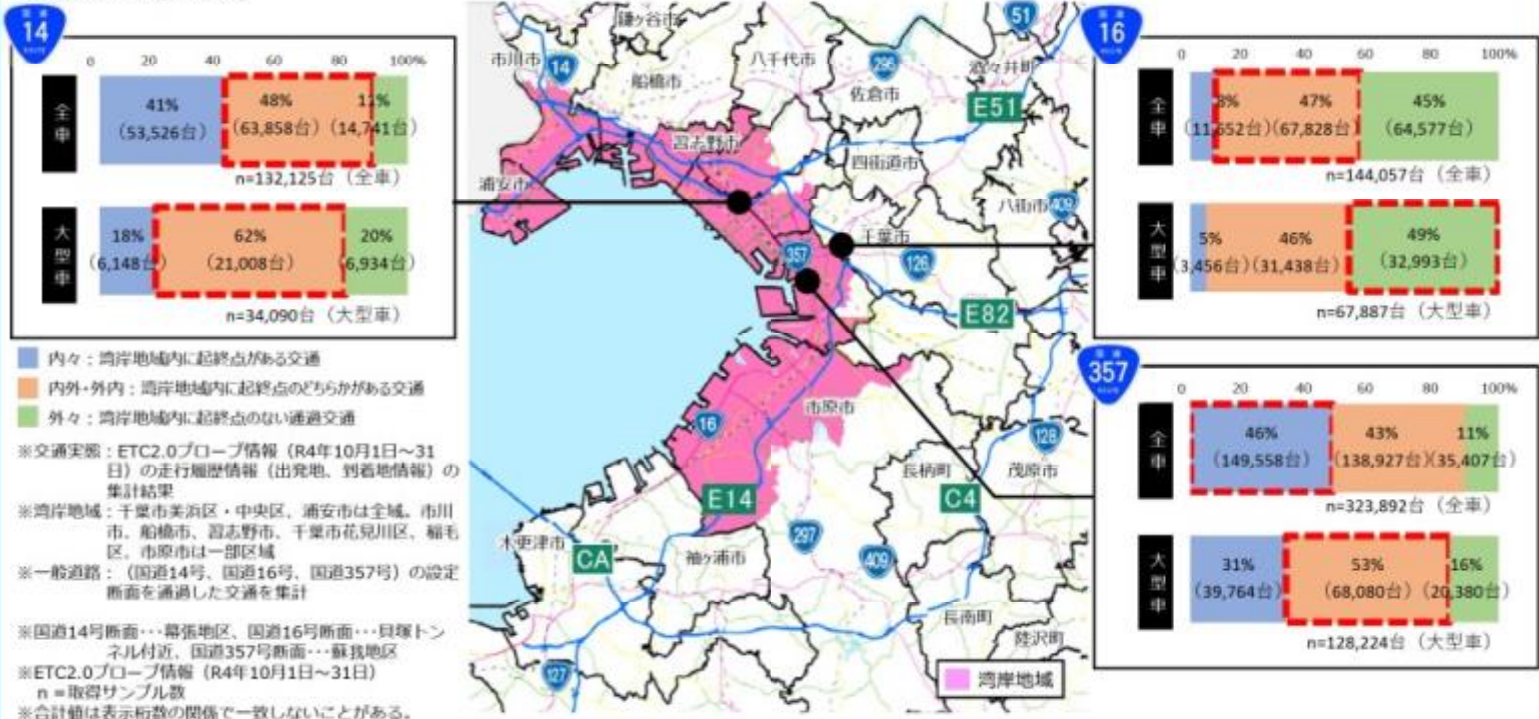
湾岸地域の交通状況（平均旅行速度[12時間平均]）

- 湾岸地域全域で旅行速度の低下が生じ、特に船橋市～千葉市（美浜区）や千葉市（中央区）の幹線道路の旅行速度の低下が著しい状況です。



各路線の交通実態

- 湾岸地域の交通の流れは湾岸地域とその他地域を行き来する移動が多く、大型車のみ抽出すると国道16号は湾岸地域を通過する交通が約半数となっています。
- 湾岸地域は地域内だけではなく、地域外との交通や通過する交通など、人や物の様々な交通需要がある地域です。



周 辺 の 開 発 計 画

※出典：第1回 新湾岸開発検討委員会 資料（千葉国道事務所HP）（一部千葉県編集）

千葉港の機能強化

■機能強化によって千葉港の取扱貨物量は大きく増加すると予測され、周辺道路では交通需要の増大も見込まれます。

千葉港の主な課題

- ・完成自動車貨物の増加による自動車ヤードの不足
- ・アクセス道路渋滞による陸上輸送の滞り

千葉中央地区の構想

- 外資コンテナ貨物・完成自動車貨物の取扱機能強化
- 埋立による自動車貨物ヤードの拡張
- 高機能物流倉庫等の整備・誘致
- 民間専用埠頭の機能維持

千葉港における貨物取扱量の将来予測



千葉港千葉中央地区の将来計画 (千葉港港湾計画)

出典：PORT of CHIBA(千葉県国土整備部港湾課)



千葉港中央地区埠頭再編のイメージ図

千葉県パンフレットを基に関東地方整備局作成



物流・商業施設開発、区画整理事業

■湾岸地域では、大型物流施設・商業施設の開発や区画整理事業の計画及び供用が開始されています。
 ■地域の交流人口が増加し街の賑わいが創出される一方、周辺道路の交通需要の増大が予想されます。

三井不動産ロジスティクスパーク(MFLP)市川塩浜Ⅱ

市川市
多様性や環境に配慮した最先端の物流施設。都心部への利便性に優れ、業界最大級の施設規模。

- 延床面積：約18万m²、地上4階建て
- 竣工：2022年3月

出典：三井不動産ホームページ
ニュースリリース
https://www.mitsubidosan.co.jp/corporate/news/2022/0331_02/

三井ショッピングプラザららテラスTOKYO-BAY

船橋市
生活利便性の高い店舗を中心に全36店舗が出店。ドッグランや遊具広場を備えるだけでなく、フードフェスやパブリックビューイングなどの実施を予定している大規模広場も整備。

- 面積：約16,740m²(屋外広場約5,000m²)
- 開業予定：2023年11月29日

出典：三井不動産ホームページ
ニュースリリース
https://www.mitsubidosan.co.jp/corporate/news/2023/1004_01/

(仮称) LaLa arena TOKYO-BAY

船橋市
千葉最初のプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」のホームアリーナ、スポーツイベントや音楽コンサート、企業の展示会なども行える大型多目的アリーナ施設。

- 敷地面積：約20,000m²
- 収容人数：約10,000人
- 開業予定：2024年春

出典：BLEAGUEホームページ
https://chibajets.jp/arena_project/declaration/



千葉中央港地区

千葉市
新たな海の玄関口、千葉みなと駅前の千葉中央港地区をにぎわいやゆいのある親水空間にするため、港湾緑地や旅客船さん橋の整備を促進し、街・駅・海の一体的なまちづくりを推進。平成28年4月に旅客船さん橋や港湾緑地、旅客船ターミナル等複合施設がオープン。

出典：千葉市ホームページ

蘇我特定地区

千葉市
2005年に「ハーバーシティ蘇我」のオープンに伴ってまちびらき。6つの大規模商業施設の開業やウォーターフロント空間の形成、スポーツ拠点の整備が進められ、年間約2,000万人が来訪。現在は災害時の防災拠点としても活用できる運動公園「蘇我スポーツ公園」を整備完了。スケートボードやBMXが楽しめる「スケートパーク」が令和4年4月にオープン。

出典：千葉市ホームページ

千葉駅東口地区市街地再開発

千葉市
千葉都心の土地の高度利用や、施設の機能更新により、駅前のにぎわいの創出を図るため、千葉駅東口駅前広場周辺で進められている民間の再開発事業を促進。再開発ビル「メインズ千葉」が令和4年11月にオープン。

出典：千葉市ホームページ